

気体測定のプロフェッショナル



株式会社岡野製作所

小型化に成功「ピラニ真空計」

創業以来、真空計や圧力計測器に取り組んでいる岡野製作所。同社の主力製品であるピラニ真空計は、電気抵抗によって真空度を測るもので、主に製造現場での圧力測定に使用されている。真空にして何らかの部品を加工・成形したり、真空状態で、部品に漏れがないか確認したりする際に使用される重要な役割を担うものなのだ。使用例は幅広く、半導体デバイス製造、液晶テレビ、DVDディスク、薄膜加工、表面処理、熱処理、乾燥等の装置、また製造の前工程、後工程で使われることもあるという。



「当社は理化学器械の販売からスタートしました。販売先のニーズを聞き出して、機器の開発や製造に力を入れてきたのです。産官連携にも以前から力を入れてきました。ニーズに沿った開発力があるのが強みです」と岡野忠弘社長。現在も大阪府立産業技術総合研究所との共同研究が続いている。

ピラニ真空計は、センサ部のフィラメントをマイクロ化することで小型化に成功。また衝撃に強いため、現場で幅広く使用できる。さらに、これら真空計の基準器となるマクラウド真空計も製造している。ピラニ真空計が正しいかどうかを測定するものだが、同機のシェアは国内でも9割を占めるという。

環境測定や流体計測にも強み

同社の得意分野は真空計だけではない。早くから環境測定にも取り組んでいる。排ガス中のダストを自動採取する装置や、ダイオキシン、窒素酸化物、アンモニア等有害ガスの試料採取、測定装置等幅広い製品を扱っている。これらは大気汚染を防止するうえで重要な役割を担っている。

一方で、流速（気体の速さ）を測るピトー管も数多く製造している。「当社では、ゲッチンゲン型風洞を設置し人工的に風を起こしてピトー管の検査を行っています。秒速47m/Sまでの測定が可能です。また、ここでピトー管を製造していますので、ここで作られたものが基準になっているのです」と岡野社長が話す通り、

厳しい検査や正確な校正ができるのも強み。

同社はまた、国家標準にトレーサブルな標準器をベースにした校正技術も有している。保有する計測標準器具が、国家計量標準および国際標準と合致しているかを明確にし、各製品ごとに精度・性能を保証しているため、高い信頼性を誇っているのだ。今後も、ますます各分野で欠かせない存在となるだろう。

主な事業内容

真空・圧力・環境分野の測定器製造、種々計測器を組み合わせたシステム商品の開発、製造等



岡野忠弘さん
代表取締役

株式会社岡野製作所

Company Profile

住所 / 〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町1-4-10
創業 / 昭和18年6月
設立 / 昭和28年4月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 25名 (平成21年1月現在)
TEL / 06-6203-4431
FAX / 06-6203-3557

ISO 9001



<http://www.okanoworks.com/>